

発達が気になる子への遊びの捉え方 ～ 遊びで得られる信頼関係 ～

神経科クリニックこどもの園(牛久市) 精神保健福祉士 菊池春樹氏

日 時：平成24年12月11日(火)

午後7時～午後9時

場 所：神栖市保健・福祉会館 2階 研修室

主 催：社会福祉法人 神栖市社会福祉協議会

申込方法：申込書または電話にて12月10日(月)
までにご連絡下さい。



〈菊池春樹氏プロフィール〉

神経科クリニック「こどもの園」(茨城県牛久市)に勤務。
精神保健福祉士。博士(ヒューマン・ケア科学)。
筑波大学医学群 非常勤講師。つくば国際大学産業社会学部 非常勤講師。
千葉県立我孫子特別支援学校 教育相談講師。

昔から子どもは「よく遊び、よく学べ」と言われますが、幼児期の場合、自発的な 遊び
そのものが重要な 学び と考えられています。

子どもは自分から進んで遊具やおもちゃなどで遊んだり、家族や先生、友だちと関わったり
して遊びに夢中になったり、没頭したりします。つまり、子どもは純粋に 遊び そのものを
楽しもうとしています。遊びを楽しむことを通して、満足感や達成感を味わい、結果的に物や
人との関わり、子ども同士の関係、体の動きや運動機能、認識や想像などの認知的なこと、言
語やコミュニケーションなどの発達につながっています。

そして、もう一つ重要なのが、遊びを通じて信頼関係を作ることです。保育者や家族に褒め
られ、認められることが子どもにとっての何よりの栄養源(成長の源)なのです。そのためにも
保育者や家族などの支援者には子どもの成長と発達にあわせた自発性を存分に発揮できるよ
うな、本人にとって最適な遊びを提供することが求められます。

そこで今回の勉強会では、保育者や両親、友達と互いに遊ぶことで得られる発達や具体的な
遊びの構成の考え方などをお話し頂きます。

保育者や教諭、子育て支援関係者、保護者など、子どもに関わる方々の
参加を心よりお待ちしております。



問合せ：神栖市社会福祉協議会 地域福祉推進センター 担当：三浦
電 話：0299-93-0294 FAX：0299-92-8750
H P : kamisushakyo.com E-mail : mail@kamisushakyo.com